

【タイ】世界一安全な日本の新幹線 「バンコクーチェンマイ間」に採用の見通し

2015年5月25日
グローバル
ニュース
アジア

2015年5月25日、タイメディアによると、タイが計画している高速鉄道で、日本の新幹線を採用する見通しが高い。今週、両国の担当大臣が東京で会談し、現地調査開始の合意文書を手交する。

バンコクとチェンマイを結ぶ、約680kmの路線が対象。当初、中国の受注が有力視されていたが、プラユット首相は、東京―新大阪間(2015年2月)、東京―仙台間(2015年3月)の2回、新幹線に試乗し「日本の新幹線技術を導入して高速鉄道網を構築し、バンコクとホアヒンやパタヤなど南部の観光地を結びたい」と語っていた。

日本の新幹線では、1964年の開業以来51年間、「死亡事故ゼロ」で安心安全。定時運行にも定評がある。当初有力と見られていた中国は、価格は安いものの、安心安全面には不安がある。2011年には大事故を起こし、事故原因の究明を行なわないまま、事故車両を現地に埋めるといった日本では考えられないミスを犯していた。

インドでも、ムンバイとグジャラート州を結ぶ区間で、新幹線が採用される可能性が高い。

【編集:高橋大地】

2015年2月10日、タイメディアは、プラユット首相と安倍総理との首脳会談は有意義で、訪日した意義は大きかったと伝えた。

高速鉄道整備などのインフラに日本が協力することや、経済分野をはじめ関係を強化していくことを共同声明として発表した。声明には、バンコクを中心とする高速鉄道整備や、タイ国内のインフラ整備に日本が協力すること。タイがミャンマーと共同で進めるミャンマー南部での港湾施設や工業団地などの整備に日本を含む3カ国が連携して取り組むことなど、経済分野を中心に関係を強化していくことが盛り込まれている。

会談では、タイの民主化プロセスを進めることや、南シナ海での中国の海洋進出をトラブルを念頭に、国際法に従って平和的に解決を目指すことを確認した。

また、イスラム過激派組織ISIL(アイシイル)による日本人殺害事件を断固として非難し、国際社会と連携してテロに対処していくことで一致した。タイで行われる多国間の軍事演習に自衛隊が参加するなど安全保障面での協力についても合意した。

プラユット首相は「日本にはタイの経済発展に力を入れていただき、感謝しています。さらに協力をおねがいしたい」と述べた。一方、安倍総理は、プラユット首相が滞在中、東海道新幹線を利用することについて「日本の高速鉄道の技術力、快適なサービスを実感していただければ」と述べ、タイが新幹線技術導入について考えを深めることに期待を示した。

【編集:高橋大地】